

香川ごみ通信

34

環境部会

毎日暑さが厳しいですが、ごみの分別排出にご協力いただきありがとうございます。

今回は、びん、カン、ペットボトルの排出についてお願いです。

●カンは青いネットに入れる。
●ペットボトルはつぶして黄色のネットに入れ、ふた（キャップは）金曜日のプラスチック類へ出して下さい。

●びんは専用コンテナに寝かせて入れてください。

写真は先日のある集積場所のビン用コンテナです。このコンテナには燃やせるゴミが出されていません。コンテナはごみ箱ではありません。ビン類を回収するための専用容器です。

なお、コンテナの内側には「ここまで」の表示があります。この表示を越える場合、別のコンテナに入れてください。今一度マナーを守っていただきたく、お願いいたします。

ビン収集用コンテナ 収納上限表示



7月28日(日) 連日続く猛暑の中、香川自治会で第一・第二町内会合同、第三・第四町内会合同による移動式ホース放水訓練が実施されました。

香川第一公園(第一・第二合同)会場では、自治会長の挨拶の後、消防署の職員、香川分団、防災部会長、町内会長が紹介され、消防団員の方による放水用消火栓の取扱説明および放水までの実演を見学しました。

消火栓の鉄製の蓋を開く作業では、蓋のあまりの重さに力持ちでない人には難しいとの感想も。見学の後、参加の方々により「放水はじめ!」「放水やめ!」と大声で合図を掛け合い、放水訓練が

開始されました。放水の際に水圧で筒先が動かないように、しっかりと腰にあてがって構える指導を受けました。



真剣です

移動式ホース格納箱

取扱・放水訓練実施



放水訓練体験中!

け、皆さん緊張しながらも上手に放水訓練を体験されました。

NEWS 最近の自治会活動から

安否確認訓練の実施について

例年は9月の防災週間に合わせて実施していましたが、参加者の熱中症防止への配慮から、11月24日に繰り延べされました。

実施時期としては湘北地区の自治会連合会が企画する防災訓練の日程と同じですが、香川自治会単独での訓練方式は従来と変わっていません。

組長の皆様には事前の説明会出席やポスター貼り、訓練当日の安否確認や拠点への報告など、いろいろご対応いただくことになると思われます。また民生委員の方々にも、拠点要員として活動をお願いする予定です。

会員の皆様には、細かな実施方法について、町内会毎に回覧が回りますので当日に向けて確認をお願いします。

鶴が台中学校の防災学習会を支援

9月7日、台中の生徒で香川に居住する生徒を、各町内会役員が防災倉庫に引率し、町内会として保管している防災用機材の説明をした後、機材の操作体験を支援しました。昨年に続いて2回目の実施でした。

防災用資機材の購入

防災ヘルメットやタープテントの追加発注に加え、動作不良となった発電機の代品購入など、総額約60万円の購入要望を市に提出。この内、購入費の半額(最大30万円)が市より助成されます。

当初の申請ではガソリンエンジンタイプの発電機の修理がリストアップしていましたが、経験者の意見により、扱いやすいガスカセットタイプの発電機の新規購入に変更されました。

防災リーダーフォローアップ研修報告

7月7日に、救助・救出に関する基本的な取り組み方法や、防災資機材に関する基本的な取り扱い方法の認識を深めることを目的とした、「実技講座」を受講したので内容と感想を簡単に記します。

8人1グループに分かれて、アイズブレイクゲームで自己紹介をした後、前半は屋外に移動し、初めに、瓦れきの下敷きになっていて人を、バールや角材を利用して救助する、災害救助訓練を行いました。指導者から被災者に励ましの声を掛けてください、とのアドバイスを受けました。

次に、水消火器を使つての消火訓練、続いて移動式ホースでの消火訓練がありました。

暑い中での屋外の作業で、担当職員から体調がすぐれなかったら無理をしないで休んで下さい、との注意がありました。幸い時々太陽が雲に隠れたり風があったため、水分を補給しながら参加者全員が最後まで受講できました。屋外講習終了後は室内に移動し、さすがに冷房がきいており、生き返るようでした。

後半では、避難所資機材の取扱いや心肺蘇生法、AEDの使用方法を体験しました。資機材では、安価で取り扱いが簡単な製品が開発されているのに感心しました。

最後に、心肺蘇生法、AEDの使用方法は、過去に何度か講習を受けていますが、技能が身に付いていないことを確認する結果となりました。

いざという時に、知識・技能が活用できなければ意味がないので、



実技講座(救助救出)

今後このような研修に、積極的に参加していきたいと思えます。(防災部会長 五十嵐)

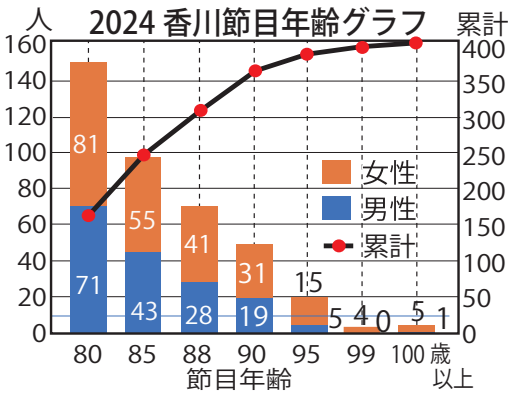
敬老の日 9.16

9月16日・敬老の日のお祝いとして各町内会から80歳以上の節目年齢の方にお届けしました。香川地区での節目年齢の全該当者の人数は399名で、昨年の370名から約8%増加しています。

敬老のお祝いをお届けした方の総人数は161名で、全該当者数に対する申請比率は約40%で、町内会別では次のようになりました。

- ・第一町内会 33名
- ・第二町内会 61名
- ・第三町内会 38名
- ・第四町内会 29名

また節目年齢別の申請者数は下



節目の年齢	申請数		計
	男	女	
満80歳(傘寿)	31	37	68
満85歳	18	21	39
満88歳(米寿)	10	10	20
満90歳(卒寿)	9	12	21
満95歳	1	7	8
満99歳(白寿)	1	2	3
満100歳(百寿)以上	0	2	2

表のとおりです。(総務部会長 安江)